

BUSINESS REPORT 2010

第36期 報告書

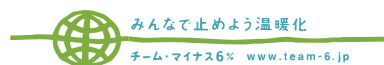
2010年1月1日～2010年12月31日

証券コード: 9942

Joyfull
Restaurant

株式会社ジョイフル

〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号
TEL.097-551-7131(代)



環境保全のため植物油インクを
使用して印刷しています。

Joyfull
Restaurant

「原点回帰」の意識と共に邁進

3期ぶりの増収。地道な取り組みの成果が着実に数字に表れました。

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、ここに第36期(平成22年12月期)の報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますよう、お願い申し上げます。

世の中の経済環境と共に、外食業界も一段と厳しさを増してまいりました。低価格競争は止まることを知らず、各社は生き残り合戦に必死の状況でございます。

そのような環境のなか、当社は前期(2009年12月期)に引き続き、「原点回帰」を掲げて意識改革を行ってまいりました。

私は、ジョイフル創業時から、創業者である穴見保雄氏と共に歩み、創業者のジョイフルに対する思いや考え方について、身をもって学んできました。この厳しい時代こそ、創業時から成長期にかけての思想、考え方、業務に対する取り組み姿勢をもう一度呼び戻そうと、従業員一人ひとりが原点からの意識を持続けて邁進してまいりました。

ジョイフルは地域のお客様に支えられており、お客様がお店にご来店されることで成り立っています。ご来店されたお客様が笑顔で時間を過ごされ、ご満足してお帰りいただくために、今、何をすべきか。「原点回帰」に当たって実行したのは、まず、次の4点について従業員一人ひとりに意識してもらうことからでした。

- 1、お客様にご満足していただいているのかを常に考える。
- 2、無駄を排除し、必要なことには投資する。
- 3、全ての人に対して思いやりの気持ちを持ち、気を配る。
- 4、全て、ゼロベースからの改善を行う。

これらを徹底し、実行した成果が当期(2010年12月期)の業績に反映されたのだと信じております。

ジョイフル本来の姿を目指すための、スタート地点から、さらに上を目指します。

取り組みの一環として、QSC(Q:クオリティ=良い品質、S:サービス=良いサービス、C:クレンリネス=清潔な環境)の更なる向上を目的とした営業活動や、お値打ち感を主とした商品提供に努め、また無駄を徹底的に排除し、地道ながらも一歩いっば、堅実な取り組みを行ってまいりました。

その結果、天候の影響を受けた6月を除き、1月より連続して前年の売上高を上回ることができ、特に最大商勢期である7月・8月も好調に推移し、3期ぶりの増収、という結果を残すことができました。

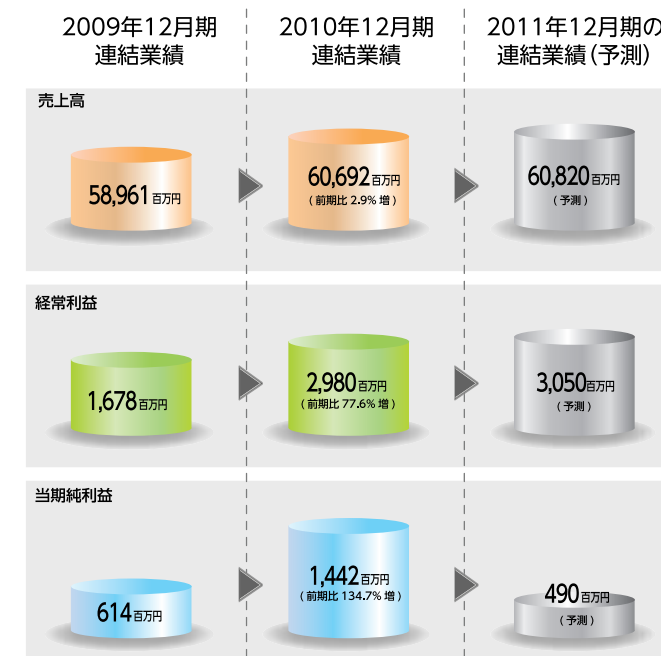
これも、全従業員がスタート地点に立ち、気持ちを新たに「目標達成」に向けた強い意志と執念を持ち続けた成果だと感謝しています。このモチベーションを落とすことなく、今後も継続してお客様にご満足していただくこと、喜んでいただけることを判断基準として経営を行っていく所存でございます。

3期ぶりの増収で、ようやくジョイフル本来の姿を目指すためのスタート地点に立てたと考えています。ここからさらに飛躍するためにも基礎を磐石にしなければなりません。「地域になくはないお店となり、お客様に喜んでいただくこと」。これこそがジョイフルが求めていることであり、ジョイフルの存在意義ではないかと思います。ここを原点とし、人材、環境、商品、経費、すべての面から、十分と思えるまでの基礎作りを続けてまいります。

株主の皆様のご支援は、ジョイフル全従業員の励みとなっております。ご期待に沿えるよう地に足のついた経営、地道な努力を続けていく所存でございますので、これからもご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2011年 3月 代表取締役社長 児玉 幸子

連結財務ハイライト



※2011年12月期より、「資産除去債務に関する会計基準」及び、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」を適用した影響額を織り込んだ予測となっております。



商品面

マーケティングリサーチによる
戦略的な「メニュー改定」

確かな品質・衛生管理をベースに、マーケティングリサーチによる商品開発に取り組みました。その一環として、「とろけるチーズインハンバーグ」を核としたグランドメニューの改定や、ランチ・モーニングメニューの改定を行うとともに、季節フェアの販売及び期間限定商品として「ハーフパウンドステーキ」の販売を行いました。

営業面

従業員能力の強化
・店舗内外の環境整備

店長・SV（スーパーバイザー）制度の一層の強化、「自立した強い店長の育成によるお客様に喜ばれる店作り」の推進によるQSC（良い品質・良いサービス・清潔な環境）の改善活動に加え、店舗内外の環境整備の観点から既存店舗の改修（年間104店舗）を行いました。



管理面

業務効率の向上と
コストコントロール（無駄の排除）

自社工場での主力商品製造強化による生産性と利益率の向上、また適切な人員配置や店舗オペレーション、広告宣伝活動の見直し等により業務効率の向上、コストコントロールに努めました。



累計200万食突破！「ハーフパウンドステーキ」

第1弾（2月9日～）

衝撃のデビューを飾った第1弾。先行販売を行った福岡警固公園前店では、1日で2,000名以上のお客様にお召し上がりいただきました。



第2弾（4月20日～）

お客様からの復活の声に応えた第2弾。選べる3種類のソースで充実のラインナップとしました。



第4弾（10月26日～）

シリーズで初めて「肩ロース」を使用。鉄板からはみ出すほどの大迫力の肉が特徴。「ビッグなうまさ」をご提供しました。



第3弾（7月16日～）

柔らかいお肉とクセのない玉ねぎソースが絶品。一般的には高級品として扱われる「シャリアピンステーキ」を低価格でご提供しました。



第5弾（12月14日～）

1年間の集大成ともいえる第5弾。2種類のお肉と4種類のソースの組合せで8つのおいしさが味わえる、充実のラインナップとしました。



ご提案「季節フェア」

冬フェア（1月12日～）

ジョイフル自慢のサイコロステーキ、美味しさ＆ボリュームアップ、しかもお手頃価格でご提供しました。



夏フェア（6月1日～）

目玉の「カレーインハンバーグ」をはじめとして、スタミナ系・さっぱり系商品をご提供しました。



秋フェア第1弾（8月24日～）

残暑から食欲の秋へと移る季節、食欲をそそる栄養満点のハンバーグをご提供しました。



秋フェア第2弾（9月13日～）

「秋のお月見バーグフェア」を開催。月に見立てた目玉焼きと人気ハンバーグのコラボメニューが登場しました。



冬フェア第1弾（11月9日～）

「さっぱり！」「甘い！」「辛い！」3種類の鍋をご提案。その日の気分によって選べる多彩なラインナップとしました。



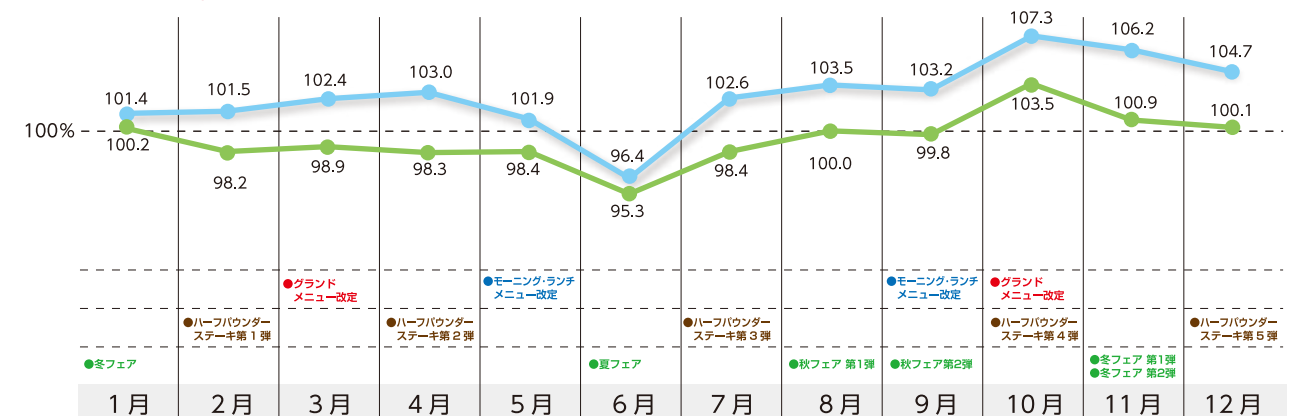
冬フェア第2弾（11月22日～）

絶大な人気を誇る「とろけるチーズインハンバーグ」をベースとした、チーズ好きにはたまらない商品をご提供しました。



全店 売上高（前年比％）の月次推移

●当社2010年/ ●ファミリーレストラン2010年平均(日本フードサービス協会発表)



企業活動を通じて「地域になくてはならないお店となり、お客様に喜んでいただくこと」を実現します。

2011年 経営方針

より磐石な 収益基盤の 確立

会社が大きく飛躍するための体制を構築し、さらに磐石なものにするために、十分であると思えるまでの基礎作りを続けていきます。

CSR (企業の社会的責任) 活動の活性化

ステークホルダー(株主様、お客様、お取引先様、金融機関様、従業員等)にとって必要とされる企業を目指します。

働きがい、自己実現、 人間成長のための 環境整備

職場の同僚・部下に対して思いやり・気配りができることで、お客様に対する心配り、気づかいができることにつながると考えています。「すべてはお客様の笑顔のために」。全従業員が同じ目的に向かって前進します。

2011年 行動指針

原点回帰 ジョイフル 創業精神への回帰

徹底した無駄の排除で、間接経費を削減すると同時に業務効率の向上を図ります。また、お客様目線での、気付き、気配り、思いやり、のある業務を行うという原点に基づいて行動します。

ジョイフルの 存在意義の 浸透

「地域になくてはならないお店となり、お客様に喜んでいただくこと」を実現するために、お客様や地域に必要とされるか否かを、物事の判断基準とします。

ゼロベース からの改善

サービス、メニューをはじめとして、現在実施しているあらゆる行動が本当に正しいのかを常に見直します。

このような取り組みを通じて、活力ある企業風土の創造を実現し、一人でも多くのお客様に幸せなひとときを提供していきます。



CSR Corporate Social Responsibility

ジョイフルを支えてくれる
地域の人たちの為の貢献活動や還元も
大切にしていきます。



ジョイフルが現在取り組んでいるCSR活動の一例をご紹介します。

地域社会・環境問題

愛のともじり運動

使用済み切手等を回収し、施設寄付を行う視覚障がい者支援活動

クールビズ・ウォームビズ

温室効果ガスの削減活動

職場体験学習の受け入れ

小・中・高校生の社会学習への協力

エコ箸の導入

森林保護およびCO₂削減活動

めじろんサポーター

大分市内店舗近隣の清掃・地域美化活動

ジェフ愛の募金活動協力

飢餓・障がい者支援・環境問題への取り組み

スポーツ支援

別府大分 毎日マラソン大会

給水ポイントでのボランティア活動

大分国際 車いすマラソン大会

沿道整備に関するボランティア活動

西日本少年サッカー大会

別名「ジョイフルカップ」大会主催

大分トリニータ

アドボードスポンサーとして支援

お客様

- 支持される商品の開発・提供
- ご満足いただける時間・空間・サービスの提供
- アレルギー情報の提供
- ハンドルキーパー運動
- 未成年者の飲酒・喫煙撲滅運動



ジョイフルは今後もさまざまなCSR活動に積極的に取り組んでいきます。



連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)		
科 目	前期末 2009 年 12 月 31 日現在	当期末 2010 年 12 月 31 日現在
資産の部		
流動資産	5,394	5,609
固定資産	23,795	22,369
有形固定資産	18,173	17,047
無形固定資産	108	92
投資その他の資産	5,513	5,229
資産合計	29,190	27,979
負債の部		
流動負債	8,546	8,394
固定負債	9,517	7,576
負債合計	18,064	15,971
純資産の部		
株主資本	11,154	12,008
資本金	1,596	1,596
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	10,937	11,792
自己株式	△3,770	△3,770
評価・換算差額等	△28	△0
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	△28	—
純資産合計	11,126	12,007
負債・純資産合計	29,190	27,979

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)		
科 目	前 期 2009 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日まで	当 期 2010 年 1 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日まで
売上高	58,961	60,692
売上原価	21,123	21,572
売上総利益	37,837	39,119
販売費及び一般管理費	36,051	36,048
営業利益	1,786	3,071
営業外収益	128	125
営業外費用	236	216
経常利益	1,678	2,980
特別利益	32	6
特別損失	926	347
税金等調整前当期純利益	783	2,639
法人税、住民税及び事業税	508	1,106
法人税等還付額	△344	—
法人税等調整額	5	91
当期純利益	614	1,442

資産の部

当期末の総資産は前期末に比べ12億1千1百万円の減少となりました。流動資産は、前期末に比べ2億1千4百万円の増加となりました。これは主に現預金の減少、有価証券(譲渡性預金)の増加、たな卸資産の増加によるものです。固定資産は前期末に比べ14億2千5百万円の減少となりました。これは主に減価償却費及び減損損失等による有形固定資産の減少11億2千6百万円によるものです。

負債の部

当期末の負債合計は前期末に比べ20億9千2百万円の減少となりました。流動負債は前期末に比べ1億5千1百万円の減少となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少、買掛金の減少、未払金の増加、未払法人税等の増加によるものです。

純資産の部

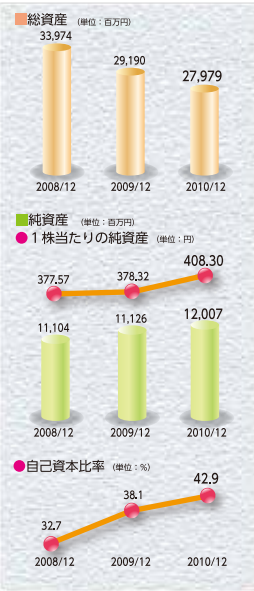
当期末における純資産は、前期末に比べ8億8千1百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加8億5千4百万円によるものです。

売上高

商品・営業施策がお客様にご支持いただいたことにより、各月において前年を上回る結果となりました。(天候等の影響を受けた6月は除く) 以上より、当期における売上高は606億9千2百万円(前期比2.9%増)となりました。

販売費及び一般管理費

売上高の増加に伴う従業員給与手当(勤務時間数)の増加、店舗内外の環境整備の観点から行った104店舗のリフレッシュ工事の実施等のプラス要素はありましたが、業務の効率化、人員配置等の見直し、広告宣伝活動等の継続的な見直しに努めた結果、前期と同水準の360億4千8百万円となりました。



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	前 期 2009 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日まで	当 期 2010 年 1 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,811	3,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,415	393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,908	△2,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△681	635
現金及び現金同等物の期首残高	3,304	2,622
現金及び現金同等物の期末残高	2,622	3,258

連結株主資本等変動計算書(要旨)

当 期 2010 年 1 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日まで	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
前期末残高	1,596	2,390	10,937	△3,770	11,154	0	△28	△28	11,126
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	△588	—	△588	—	—	—	△588
当期純利益	—	—	1,442	—	1,442	—	—	—	1,442
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△0	28	27	27
当期変動額合計	—	—	854	△0	854	△0	28	27	881
当期末残高	1,596	2,390	11,792	△3,770	12,008	△0	—	△0	12,007

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、31億8千万円(前期比75.6%増)となりました。 収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益26億3千9百万円、減価償却費12億6千万円、減損損失2億6千4百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額6億5千8百万円、長期前受収益の減少額2億9百万円、仕入債務の減少額1億9千5百万円、たな卸資産の増加額1億3千9百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、3億9千3百万円(前期比72.2%減)となりました。 主な内訳は、定期預金の払戻による収入6億円、有形及び無形固定資産の取得による支出3億3千1百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、29億3千6百万円(前期比24.9%減)となりました。 主な内訳は、長期借入金の返済による支出21億1千9百万円、配当金の支払額5億8千6百万円、社債の償還による支出2億3千万円であります。

株式の状況

発行可能株式総数
120,000,000 株

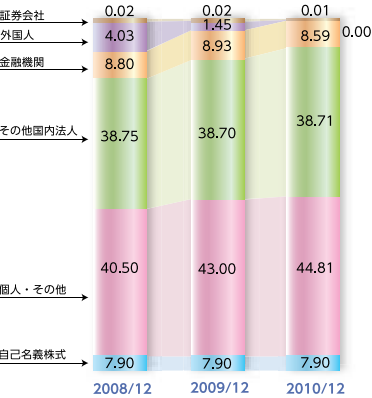
発行済株式の総数
31,931,900 株

株主数
9,790 名

株式の所有者別状況

	2008/12 (2008年12月31日現在)		2009/12 (2009年12月31日現在)		2010/12 (2010年12月31日現在)	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
■証券会社	6	6,900	8	5,946	8	4,406
■外国人	3	1,289,200	5	462,400	1	100
■金融機関	16	2,808,362	17	2,851,062	14	2,733,362
■その他国内法人	69	12,371,466	73	12,358,766	78	12,362,366
■個人・その他	7,512	12,933,798	8,840	13,731,328	9,688	14,308,932
■自己名義株式	1	2,522,174	1	2,522,398	1	2,522,734
合 計	7,607	31,931,900	8,944	31,931,900	9,790	31,931,900

株式の所有者別構成比率の推移 (単位: %)

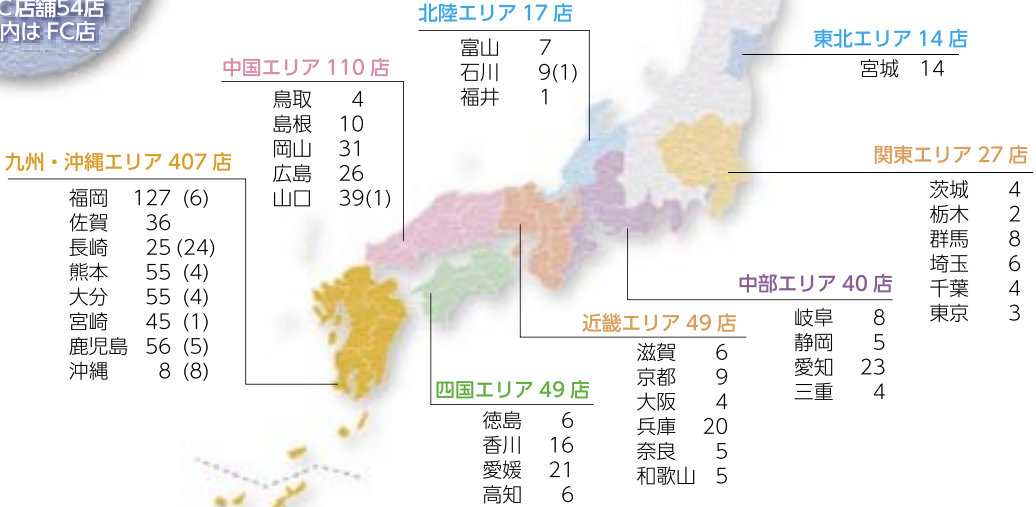


会社概要

社 名	株式会社 ジョイフル
本社所在地	大分県大分市三川新町一丁目 1 番 45 号
大分工場	大分県大分市三川新町一丁目 1 番 45 号
大分配送センター	大分県大分市下郡中新地 3410-1
熊本工場・配送センター	熊本県菊池市袈裟尾字下大迫 445-4
愛知工場	愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地 1-17

創 業	1965 年 6 月
創 立	1976 年 5 月
従業員数	1,177 名 (2010 年 12 月 31 日現在) 上記従業員の他にパートタイマー 7,151 名 (8 時間換算) を雇用しております。
資 本 金	15 億 9,659 万円
主な事業内容	「ファミリーレストラン ジョイフル」の チェーン展開
連結子会社	株式会社ジョイフルサービス

店舗一覧
店舗ネットワーク
713店
うち F C 店舗54店
※()内は FC 店



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
基準日	定時株主総会の議決権 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 (中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
株式名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) TEL. 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://www.joyfull.co.jp/
上場取引所	福岡証券取引所

●住所変更、単元未満株式の買収・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行
株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出下さい。

●「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別
措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただく
ことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、
配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
* 確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。